

第3編 行政

第1章 行政振興

I 広域市町村圏の概要 (R4. 4. 1 現在)

安芸広域市町村圏		設定年度	構成市町村名			
			中心市町村名	市町村名		
		平成2年度	安芸市	室戸市	安芸市	東洋町
広域行政機構名	安芸広域市町村圏事務組合		田野町	安田町	北川村	馬路村
所在地	安芸市伊尾木4034-1		芸西村			
人口・面積	44,965人 (令和4年1月1日住民基本台帳年報) 1,128.47Km ² (令和4年4月1日国土地理院)		(2市4町3村)			
圏域の特徴	<p>本圏域は高知県東部に位置し、面積は全県の15.9%、人口は6.5%を占めている。</p> <p>産業は暖地を利用した施設園芸が安芸市付近で盛んで、また遠洋漁業の基地が室戸市にある。</p> <p>室戸岬を中心とする室戸阿南海岸国定公園を擁しており、室戸市全域が世界ジオパークに認定されるなど地質遺産にも恵まれている。</p>					
基本構想計画期間	令和3年度～令和12年度					
基本計画期間	令和3年度～令和7年度					

仁淀川広域市町村圏		設定年度	構成市町村名			
			中心市町村名	市町村名		
		平成7年度	土佐市	土佐市	いの町	日高村
広域行政機構名	仁淀川広域市町村圏事務組合					
所在地	吾川郡いの町1700-1 いの町役場内					
人口・面積	53,254人 (令和4年1月1日住民基本台帳年報) 607.32Km ² (令和4年4月1日国土地理院)		(1市1町1村)			
圏域の特徴	<p>本圏域は仁淀川中・下流域に位置し、面積は全県の8.6%、人口は7.7%を占め、紙産業など水質源に関連する産業に支えられて発展してきた地域である。</p> <p>また、社会生活や経済活動などで県都高知市と密接な関係を有しており、高知都市圏として位置づけられている地域である。</p>					
基本構想計画期間	平成30年度～令和4年度					
基本計画期間	平成30年度～令和4年度					

嶺北広域市町村圏		設定年度	構成市町村名			
			中心市町村名	市町村名		
		平成7年度	本 山 町	本山町	大豊町	土佐町
広域行政機構名	嶺北広域行政事務組合					(3 町 1 村)
所在地	長岡郡本山町本山995					
人口・面積	10,757 人 (令和4年1月1日住民基本台帳年報) 756.68Km ² (令和4年4月1日国土地理院)					
圏域の特徴	<p>本圏域は四国中央部の吉野川源流地域に位置し、面積は全県の10.7%、人口は1.6%を占めており、標高は200m～1,700mの山岳地形である。</p> <p>圏域の88.5%を森林が占めており、県内で最も森林率が高い地域である。木材の高付加価値化の取り組みなど豊かな森林資源を活かした産業の振興、圏域の発展が期待される。</p>					
基本構想計画期間	平成21年度で終了、以後策定無し					
基本計画期間	平成21年度で終了、以後策定無し					

高吾北広域市町村圏		設定年度	構成市町村名			
			中心市町村名	市町村名		
		平成7年度	佐 川 町	佐川町	越知町	仁淀川町
広域行政機構名	高吾北広域町村事務組合					(3 町)
所在地	高岡郡越知町越知甲2129-7					
人口・面積	22,617 人 (令和4年1月1日住民基本台帳年報) 545.75Km ² (令和4年4月1日国土地理院)					
圏域の特徴	<p>本圏域は県の中央部西端に位置し、仁淀川水系沿いの3町で構成されており、面積は全県の7.7%、人口は3.3%を占めている。</p> <p>高知市と松山市を結ぶ国道33号線とJR土讃線が基幹交通軸となっており、高知市と松山市の中間に位置する交流連結ゾーンとして発展の可能性を持った圏域である。</p>					
基本構想計画期間	平成26年度で終了、以後策定無し					
基本計画期間	平成26年度で終了、以後策定無し					

高幡広域市町村圏		設定年度	構成市町村名			
			中心市町村名	市町村名		
		平成3年度	須崎市	須崎市	中土佐町	梶原町
広域行政機構名	高幡広域市町村圏事務組合		四万十町			
所在地	須崎市山手町1番7号					
人口・面積	51,919人（令和4年1月1日住民基本台帳年報） 1,404.99Km ² （令和4年4月1日国土地理院）		(1市4町)			
圏域の特徴	<p>本圏域は県の西部に位置し、面積は全県の19.8%、人口は7.5%を占めており、全国的に知名度の高い四万十川の源流域やリアス式海岸に開けた天然の良港である須崎港を擁している。</p> <p>須崎港は全県の港湾取扱貨物量の約半数を占める県下最大の貿易港であり、四国横断自動車道等の広域交通体系の整備を背景とした流通拠点として期待されている。</p>					
基本構想計画期間	令和3年度～令和15年度					
基本計画期間	令和3年度～令和15年度					

幡多広域市町村圏		設定年度	構成市町村名			
			中心市町村名	市町村名		
		昭和45年度	四万十市	四万十市	宿毛市	土佐清水市
広域行政機構名	幡多広域市町村圏事務組合		三原村 黒潮町			
所在地	四万十市上ノ土居1544					
人口・面積	81,820人（令和4年1月1日住民基本台帳年報） 1,561.04Km ² （令和4年4月1日国土地理院）		(3市2町1村)			
圏域の特徴	<p>本圏域は高知県の西南部に位置し、四万十市と宿毛市を中心市とした定住自立圏を形成している。面積は全県の22.0%、人口は11.8%を占めており、四万十川の下流域や足摺宇和海国立公園などの観光資源に恵まれた圏域である。</p> <p>また、本圏域は良港である宿毛湾港を擁しており、四国と九州とを結ぶ位置にあることや観光資源を有することなどの特性を生かした発展が期待される。</p>					
基本構想計画期間	平成22年度で終了、以後策定無し					
基本計画期間	平成22年度で終了、以後策定無し					

高知中央広域市町村圏 (平成25年3月31日終了)	設定年度	構 成 市 町 村 名			
		中心市町村名	市 町 村 名		
	平成7年度	高 知 市	高知市	南国市	香南市
広域行政機構名	高知中央広域市町村圏事務組合 ※H25.3.31解散				